

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成26年10月15日 発行
 毎月 1回15日発行
 編集兼発行人 公益社団法人 全国漁港漁場協会
 田中 潤児
 東京都港区赤坂1-9-13三會ビル8階
 電話 東京(5114)9981
 定価 1部 70円
 (会員の購読料は会費の中に含む)

水産環境整備マスタープラン

平成26年10月、今後の漁場整備の技術的な課題を解決するため、海洋・沿岸域における水産環境整備の技術検討会において、「水産環境整備の推進に向けて」と題する提言のとりまとめが行われた。概要を基本方針、現在の取り組み状況について、具体的に紹介する。

水産生物の動態、生活史に対応した生態環境空間を創出

提言の中で、「水産環境整備」とは、「水産資源の回復・増大と豊かな生態系の回復が図られるよう、水産生物の動態、生活史に対応した良好な生態環境空間を創出する」と定義し、その基本方針は3つの柱として示している。

①環境基盤の重視
 環境を重視する観点から基盤を整備し、生態系全体の生産力の底上げを目的とする。

②点から空間へ
 これまでの「点」的な整備から、対象とする水産生物の動態、生活史を踏まえた生態環境空間として対象範囲を捉え直すこと。

③資源・環境変動への対応
 資源や環境の変動を踏まえて、良好な状態を維持・保全するための柔軟な整備・管理を行うこと。

資源や環境の変動を踏まえて、良好な状態を維持・保全するための柔軟な整備・管理を行うこと。

水産環境整備の推進に向けて（基本方針）

背景

- 漁業生産量はピーク時の約半分
- 資源水準の低迷
- 干潟の大幅な減少
- 貧酸素水塊の発生、悪質の悪化

水産環境整備とは

生態系全体の生産力の底上げをめざし、水産生物の動態、生活史に対応した良好な生態環境空間を創出する整備

環境基盤の重視

環境を重視する観点から基盤を整備し、生態系全体の生産力の底上げをめざす。

点から空間へ

これまでの「点」的な考え方から、対象とする水産生物の動態、生活史を踏まえた生態環境空間として対象範囲を捉え直す。

資源・環境変動への対応

資源や環境の変動を踏まえて、良好な状態を維持・保全するための柔軟な整備・管理を行う。

海域ごとにマスタープランを策定し、モニタリングを充実した事業の推進

生活史に着目したマスタープランづくり

全体計画

(長期的な目標)
 ●海域全体の資源量の増加
 ●生産力の底上げ

実施体制

本主体
 関係機関
 漁業者
 行政機関
 関係機関

実施計画

●養魚・放流等
 ●モニタリングの充実
 ●環境保全活動

生活史

メバル・カサゴ・ヒラメなど

漁場の整備

●モニタリングの充実
 ●環境保全活動

資源・環境変動への対応

●モニタリングの充実
 ●環境保全活動

現在の取組状況

平成26年10月現在、全国15地区において水産環境整備マスタープランに基づき事業が実施されている。

① 播磨灘地区 (実施都道府県：兵庫県、岡山県、香川県) 指標種…マコガレイ

② 大阪湾地区 (実施都道府県：兵庫県、大阪府) 指標種…キンノタ

③ 日本海沿岸地区 (実施都道府県：新潟県、山形県、秋田県、山形県、青森県、ウズメバル、ハタハタ)

④ 石狩湾周辺地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…ソノチ

⑤ 北海道太平洋中部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…ウズメバル

⑥ 北海道太平洋西部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…ソノチ

⑦ 北海道太平洋北部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…マコガレイ

⑧ 北海道太平洋南部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…ソノチ

⑨ 伊予灘地区 (実施都道府県：愛媛県、山口県、大分県) 指標種…マコガレイ

⑩ 伊予灘地区 (実施都道府県：愛媛県、山口県、大分県) 指標種…マコガレイ

⑪ 琵琶湖地区 (実施都道府県：滋賀県) 指標種…マコガレイ

⑫ 北海道太平洋中部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…ソノチ

⑬ 北海道太平洋西部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…ソノチ

⑭ 北海道太平洋北部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…マコガレイ

⑮ 北海道太平洋南部地区 (実施都道府県：北海道) 指標種…ソノチ

大震災からの本格再生を

大日本水産会 竹下復興大臣に要請

大震災対策本部(本部長 白須敬嗣)は、9月30日、竹下復興大臣を表敬訪問し、震災復興への要請を行った。

白須大臣は、「被災地域の水産業の復興加速化を図るため、復興関係者の意向を十分勘案の上、万全の対策をお願いたし」と要請した。

竹下大臣は「水産加工業を以前の生産(なりわい)の状態に戻すまでが真の復興と受け、大日本水産会の重責を担う」と述べた。

要請には白須会長をはじめ、日本かつお、まぐろ漁業協同組合の山下調組長、全国まぐろ漁業協会の川本吉典会長、全国底網漁業連合会の那桐理事局長、日本トロール底魚協会の吉田光徳会長、全国いか釣り漁業協会の三宅哲夫会長、JDF全漁連の大森敏弘事務局長、大日本水産会の重責を担う」と述べた。

＜伊予灘地区水産環境整備マスタープラン概要＞

事業主体	大分県・愛媛県・山口県	対象種	マコガレイ(指標種)、マダイ(指標種)、キジハタ、メバル、カサゴ等
目標	マコガレイ・マダイ等の生活史に対応した良好な漁場の整備を実施し、伊予灘海域全体の資源量の増加を目指す。	整備方針	対象種のうち、マダイ、メバル、カサゴは産卵を岩礁域で行うため、魚礁等の設置により、産卵域の拡大及び産卵親魚の保護を図る。また、初期減耗の抑制のため、藻場造成、餌料培養型構造物の設置により条件整備を行う。特に、大きな移動・回遊を行うマコガレイとマダイに関しては、成長段階別に広い範囲で環境整備を行う。

【モニタリング方針】

マスタープランの検証については、関係3県が整備海域において、藻場の形成状況及び餌料生物の出現状況、マコガレイ、マダイ、キジハタ、メバル、カサゴ種魚の増殖状況等についてモニタリングを行うとともに、漁獲統計調査の分析もあわせて行うことにより、知見の集積に努め、所期の目的達成についての検証を行う。

【指標種の成長段階に対応した整備内容】

① マコガレイ
 稚魚期：餌料培養型構造物の設置による餌場の整備
 未成魚期：ソフト施設と連携した魚礁設置による生産力の向上
 成魚期：同上
 産卵期：ソフト施設と連携した産卵量の増大

② マダイ
 稚魚期：岩礁域となる藻場造成
 幼魚期：餌料培養型構造物の設置による餌場の整備
 未成魚期：ソフト施設と連携した生産力の向上
 成魚期：同上
 産卵期：保護礁の設置による産卵量の増大

